

- 天塩町、豊富町、幌延町、北海道及び国からなる「天塩川下流減災対策部会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、関係機関の職員を対象とした防災研修を実施しました。
- 大規模水害に対する地域防災力向上に資するべく、天塩川流域市町村(2市8町1村)及び、関係機関の防災担当者を対象とした豪雨災害対策研修を天塩川治水促進期成会と連携し開催しました。
- 参加された方から、「避難勧告等は早めに躊躇することなく発令することが重要」との感想がありました。

天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修 概要

目的：北海道では今年8月に観測史上初めて1週間の間に3個の台風が上陸し、その1週間後に再び台風が接近するというかつてない気象状況となり、各地で記録的な大雨による甚大な被害が発生しました。天塩川でも氾濫危険水位を超える川の増水や浸水被害が発生するなど大規模洪水への備えの重要性を再認識すべき状況となり、地域防災力向上に資するべく本研修を行うものです。

実施日：平成28年10月18日～19日

実施場所：名寄市 グランドホテル藤花
(北海道名寄市西5条南4丁目)

対象機関：自治体(名寄市、士別市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、中川町、幌延町、天塩町、豊富町、音威子府村)
関係機関(旭川開発建設部、留萌開発建設部、旭川地方气象台、北海道上川総合振興局、北海道警察旭川方面本部、陸上自衛隊第2師団)

参加人数：約70人

訓練内容：

- 気象に関する基礎知識
- 防災に関する基礎知識
- 河川情報に関する基礎知識
- 北海道の防災体制等について
- 豪雨災害時の対応について
- 危機管理演習(グループワーク)

研修実施状況



加藤名寄市長 開会挨拶



研修実施状況



危機管理演習(グループワーク)